氏　　名　片岡弘勝（かたおかひろかつ）

所属・職名　学校教育講座（生涯学習）・助教授

研究室電話番号　０７４２－２７－９２６３（ダイヤルイン）

電子メールアドレス　mkkhiro@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位　名古屋大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学（1990）
教育学修士（名古屋大学 1987）

所属学会等　日本社会教育学会，日本教育学会，教育史学会

専門分野　地域生涯学習論および社会教育学

研究と教育について

現在の主な研究テーマは，次の二つです。一つは，地域づくりにつながる住民主体の生涯学習活動のあり方および，その学習論・主体形成論です。このテーマに接近するための基礎研究として，戦後日本の教育実践・理論に多大な影響を与えた上原専祿（1899～1975 年，歴史学者，思想家）の思想や理論提起を学習論・主体形成論の角度から考察しています。もう一つは，戦間期（両大戦間期）に組織化されたときの日本の社会教育の本質（概念）を解明する歴史的思想的研究を行っています。

生涯学習には，「生涯にわたる学習」という意味のみならず，学校教育や社会教育を含めた教育総体の再編成（改革）原理という意味も含まれています。奈良教育大学での担当授業では，学習者が自主的，主体的に継続させる学習活動とはどのようなものか，どのような条件があれば成立するのか，という視角から，学校教育を含む教育総体をとらえ直す視点や，地域社会と教育との結びつきの視点を重視したいと考えています。

主な研究業績

・論文「上原専祿『主体性』形成論における『国民文化』概念－『国民形成の教育』論にみる価値づけとの関連を中心に－」，『日本社会教育学会紀要№40』，2004年，41‐50頁。
・論文「特論　戦間期日本におけるドイツ・ロマンティーク発想の受容と特質－カール・ラムプレヒトの紹介状況への一視点－」，新海英行編『現代日本社会教育史論』，日本図書センター，2002年，160‐176頁。
・論文「上原専祿『課題化的認識』論における『主体性』概念－『インテリの大衆化』論と学習論の接合方法を中心に－」，『日本社会教育学会紀要　№37』，2001年，71‐79頁。
・論文「上原専祿研究の到達と課題－その主体形成論・学習論を中心に－」，『香川大学生涯学習教育研究センター研究報告　第6号』2001年，15‐39頁。
・論文「戦後主体形成論における『地域』概念－上原専祿『生活現実の歴史化的認識』論の構造－」，『日本社会教育学会紀要　№34』，1998年，32‐40頁。

主な授業担当科目

学　部：生涯学習概論，生涯教育計画特講，生涯教育演習
大学院：生涯学習特論，生涯学習演習

学会活動

社会的活動　なら生涯学習研究会（呼びかけ人）

講演のテーマ　「生涯学習とは何か－生涯学習リーダーに求められるもの－」，「生涯学習によるまちづくり」，「地域づくりと生涯学習」，「公民館職員に求められるもの」